

## 技術提案書作成要領

技術提案書には、次に示す項目について記述してください。技術提案書は、A4 サイズ用紙 10 ページ以内で記述し、様式は自由とします。必要に応じて図表や写真等を使用して構いません。(A3 サイズは可としますが、2 ページ換算とします。)

## 【業務の目的・背景】

本業務は、2017年（平成29年）の立地適正化計画策定後からこれまでの評価等を行うとともに、本市の災害ハザードエリアにおける災害リスクを踏まえ防災対策等について検討を行い、令和5年度の「防災指針」を位置づけた立地適正化計画の改定に向けた検討等を行うことを目的としております。

本市を含む社会を取り巻く動向や人口、土地利用、交通移動動態なども変化しており、ハザードエリアについても更新や新規指定がなされております。そのため、社会情勢や市の都市計画に関する各種データの更新による変化や現在の状況を踏まえ、居住誘導区域等の変更等を含む改定内容の検討と合わせて「防災指針」の素案の策定を行います。

## 【提案事項】

本業務を進めるにあたり、業務内容説明書（別紙 1）の内容も踏まえ、次の 4 点について提案をしてください。

提案事項	内容
(1) 各種ハザードエリアや都市情報の重ね合わせ等による有効的・効果的な分析・評価手法	「業務内容説明書 2（4）」の項目において、各種データをどのような方向性で分析・評価するか提案してください。
(2) 分析・評価結果の防災指針・本計画への有効的・効果的な反映方法	「業務内容説明書 2（5）から（8）」の項目において、分析・評価結果をどのような方向性で内容を反映させるか提案してください。
(3) 市街化調整区域、市街化区域内の居住誘導区域外の区域、都市機能誘導区域など、区域ごとの防災面におけるまちづくりの検討	「業務内容説明書 2（5）から（8）」の項目において、区域ごとにどのような方向性で検討することができるか提案してください。

手法及び検討プロセス	
(4) ニューノーマルなどの新たな視点を取り入れた検討手法及び検討プロセス	「業務内容説明書2(2)及び(5)」の項目において、取り巻く社会情勢の変化等として、SDGs、コロナ禍における交通のトレンドやニューノーマル、カーボンニュートラルなどの考え方や取組に関し、立地適正化計画にどのように関連性を踏まえて検討できるかについて提案してください。

※巻末に業務実施スケジュール（業務フロー）等、作業の進め方について記述してください。